

【開講日】令和2年3月18日(水)

三鷹サテライト教室

文化

三鷹

312072g

【連続講座】明治維新を考える 第四弾

馬場辰猪と患者の自己決定

受講料 (振込額)	1,500円 ※連続講座「明治維新を考える 第四弾」全7講座お申し込みの場合10,000円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	水曜日		日程 3月18日	
	時間	15:00～16:30			
	回数	全1回	定員		50名 (全7回講座と合算)
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	成蹊大学客員研究員 三田 奈穂 (みた なほ)				
	慶應義塾大学法学部法律学科卒業、同大学院法学研究科公法学専攻前期博士課程修了、同後期博士課程単位取得退学。修士(法学)。 著書『日本法制史講義ノート』『法学概論』(ともに霞信彦ほか共著、慶應義塾大学出版会)。論文「旧刑法数罪併発条と治罪法第一三条但書」法学政治学論究94号、「特赦の観念と刑の執行の免除」司法法制部季報136号、「明治期における単純執行猶予の導入をめぐる」論究ジュリスト14号、「明治初期の自白によらない断罪」成蹊法学87号ほか。				
内容	大正5年に発表された森鷗外の小説『高瀬舟』は、安楽死を題材とした小説として広く親しまれています。しかしそれ以前に、安楽死の是非を議論の俎上に載せた人物として馬場辰猪がいることは、あまり知られていません。 国友会は、自由民権運動で生成された政治結社の一つです。その機関雑誌『国友雑誌』(53・54号)には、明治15年の記事として、「討論 患者ガ決心ヲ求ムル時ハ医師立会ノ上ニ応ズルベシトノ明文ヲ法律ニ掲グルノ可否」が掲載されました。討論は馬場辰猪の発論によるもので、現時点では安楽死について公然と論じた最初のものでされています。不治の病床にあり死苦の甚だしい患者に対して、生命短縮の措置を施す安楽死は、イギリスで発達した考え方です。7年にわたるイギリス留学の経験を有する馬場が好意的に受け止めたのに対して、全体として否定的な意見が多数を占めました。討論には末広鉄腸を含む数名の新聞人が参加しています。 講座では、安楽死に関する現代法の考え方を踏まえたうえで、史料を読み、現代の問題を考える手がかりとします。				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

Musashino University

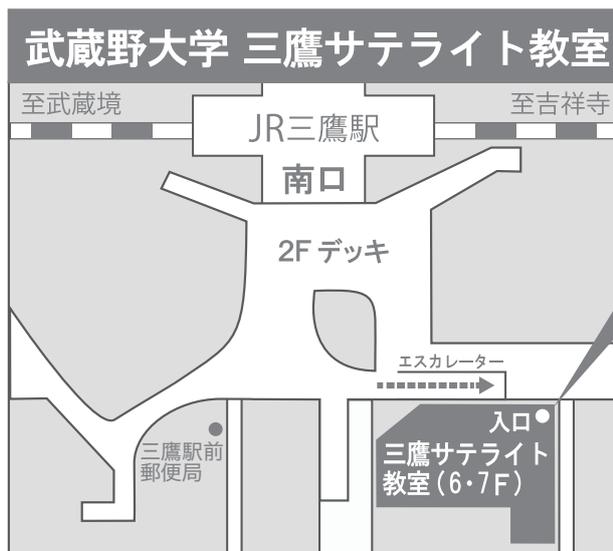
お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211

開室日: 月～金曜日 9:30～18:00
土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 地域交流推進室

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013

東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビルディング

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります。
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。